

結核登録者情報調査月報報告（秋田県）－平成29年（2017年）2月の概況－

■ 2月の概況（概数）

○秋田県の平成29年2月の新登録結核患者数は4人でした。
 そのうち、喀痰塗抹陽性肺結核患者数は2人、その他の活動性肺結核患者数は1人、肺外結核患者数は1人でした。
 また、潜在性結核感染症（別掲）は7人でした。
 ○年齢別では、0～59歳が0人、60～69歳が1人、70～79歳が0人、80歳以上が3人でした。
 ○保健所管内別では、秋田市保健所管内で1人、能代保健所管内で1人、横手保健所管内で2人の患者が新たに結核と診断されました。

■長引く「せき」は赤信号！ 結核に対する一人ひとりの理解が大切です。

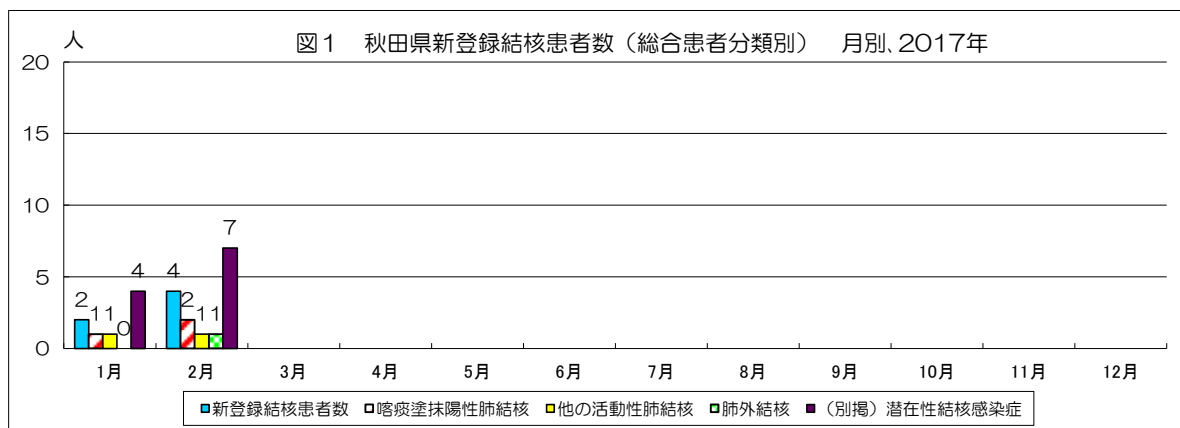
○結核の発生状況については、県民の皆さんの注意喚起のために、週報及び月報の情報を提供しています。
 ○健康に留意し、毎年、定期健康診断を受けましょう。
 ○2週間以上続く「せき」や「たん」等の症状がありましたら、早めに病院を受診しましょう。

1. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、2017年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総合患者 分類別 (図1)	秋田県	2	4											6
	喀痰塗抹陽性肺結核	1	2											3
	他の活動性肺結核	1	1											2
	肺外結核	0	1											1
	(別掲) 潜在性結核感染症	(4)	(7)											(11)
年齢別	秋田県	2	4											6
	0-59歳	0	0											0
	60-69歳	0	1											1
	70-79歳	1	0											1
	80歳以上	1	3											4
	(再掲) 70歳以上 %	2 100.0	3 75.0											5 83.3

*用語の説明

新登録結核患者	新たに結核と診断された患者。
喀痰塗抹陽性肺結核	たんの中に結核菌が出るようになり、他者にうつすおそれのある重症化した状態の結核。
活動性肺結核	結核の治療を要する者。
肺外結核	肺又は気管支を主に冒した結核症。
潜在性結核感染症	肺及び気管支以外の臓器を主に冒した結核症。例えば胸膜、咽頭、腸、腎臓、骨、皮膚等結核菌に感染しているものの、発病しないで一時的に休眠状態にある場合。



2. 秋田県の新登録結核患者数<概数> 月別、保健所別、2017年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
保健所別	秋田市	0	1											1
	大館	0	0											0
	北秋田	0	0											0
	能代	0	1											1
	秋田中央	0	0											0
	由利本荘	0	0											0
	大仙	0	0											0
	横手	2	2											4
	湯沢	0	0											0
H29年	秋田県(概数)*	2	4											6
H28年	秋田県(概数)*	10	4	3	3	7	7	9	8	6	7	10	6	80

*月報はあくまでも月別の合計値(概数)であるため、年報の確定値とは一致しない場合があります。

- 秋田県及び全国の結核情報については、
秋田県健康環境センター、結核予防会結核研究所等のホームページをご覧ください。